

第14回山崎七郎杯 8人制少年サッカー大会

兼 第15回岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北海道大会 札幌地区予選 開催要項

目的	札幌地区の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、第15回全道少年（U-10）サッカー大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	（一社）札幌地区サッカー協会
主管	（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市教育委員会、（一財）札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
運営	東区
期日	予選リーグ 平成30年6月10日（日）・17日（日） 代表決定トーナメント 平成30年6月24日（日）
参加資格	①（公財）日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学校4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なる加盟チームへ移籍後、再び参加することはできない。 ③引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。 ④参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。 ⑤参加選手はスポーツ安全協会傷害保険（第1種A）もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ⑥本大会は、少年団連盟複数チームエントリー規定に則り、同一加盟チームより複数チームエントリーが可能である。
競技規則	（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則2017/18」及び「8人制サッカールールと審判法」による。
競技方法	①予選リーグ 参加チームを10ブロックに分ける。さらに3～4チームのリーグに分け、総当たり戦を行う。各ブロックの1位が代表決定トーナメントに進出する。参加チーム数により4チームリーグの2位も進出することがある。順位決定は、勝ち点（勝:3 引分:1 負け:0）、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順とする。 ②代表決定トーナメント 予選リーグを勝ち上がったチーム4チームを1ブロックとし、トーナメント戦を行う。同点の場合は、PK方式（3名ずつ）により次回進出チームを決定する。代表決定戦においては、6分の延長戦（3分-3分）を行い、なお決しない時はPK方式（3名ずつ）により決定する。 ③競技のフィールド ピッチサイズは、60～68m×40mとする。 ④試合球 公認球4号ボールとする。 ⑤競技者の数および交代 試合は8人（うち1名はゴールキーパー）で行い、16名登録のフリー交替制とする。ゴールキーパーは、事前に主審に通告した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。 ⑥競技者の用具 競技者の用具は、実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」及びユニフォーム規定に従うものとする。シャツ・ショーツ・ソックスは正の他に副としてこれと異なる色のシャツ・ショーツ・ソックスを携帯すること。選手番号は、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。 ⑦審判員 主審、副審（2名）、第4審判の4名で運営する。 ⑧試合時間 前後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。 ⑨その他 暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。
懲罰	①リスペクト・フェアプレー委員会を設ける。委員長は（一社）札幌地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。 ②大会期間中に警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。 ③大会期間中において退場させられた競技者は次の1試合に出場できず、それ以降の措置については、（一社）札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。 ④大会要項に記載されていない事項については、リスペクト・フェアプレー委員会で決定する。
その他	①札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②選手証（電子選手証もしくは印刷したもの）、大会エントリー表、メンバー表を持参すること。 ③札幌代表10チームは全道少年U-10サッカー大会（7月14日～16日・岩内）への出場を義務づける。 ※全道大会出場チームは3級以上の帯同審判を義務付ける。帯同審判員は、監督と兼務できない。帯同審判員がベンチ入りのコーチとなる場合、審判業務を優先するものとする。 ④大会の追加エントリー及び取り消しの締め切りは、抽選日1週間前の17:00とする。